乙部町の観光スポットを紹介するための chatGPTを活用したAI顔はめパネルの改良

情報メディア学部 情報メディア学科 斎藤一ゼミナール
2021212 澤村那英

背景

新型コロナウイルス感染拡大により北海道の観光入込客数が減少した。 その一方で近年、生成系のAIが着目されていて、最近では特にchatGPT が有名である。chatGPTは札幌市などの有名で人口の多い町はある程度正確に出力できるが、人口の少ない町については、出力が難しい。本制作ではこれらの町を「穴場」と定義して、北海道の穴場に興味を持ってもらうようにする。

使用言語・使用技術

使用言語	使用技術	使用ソフトウェア
python3.11.5	DeepFace chatGPT	Visual Studio Code

DeepFaceとは？

照明の変化やカメラに対する顔の向きなど左右されることなく 人間と同じくらいの精度で顔を認識できるAIソフトウェアである。

プログラムの改良

- 以前使っていたMicrosoftのAPIであるAzureFaceAPIが使用不可になっていたためDeepfaceに置き換えた
- Deepfaceにより推定した年齢層別にスポットを推薦し、データベースに格納された推薦文をchatGPTに渡すことでキャッチコピーを出力させる機能を追加した

目的・ターゲット

目的

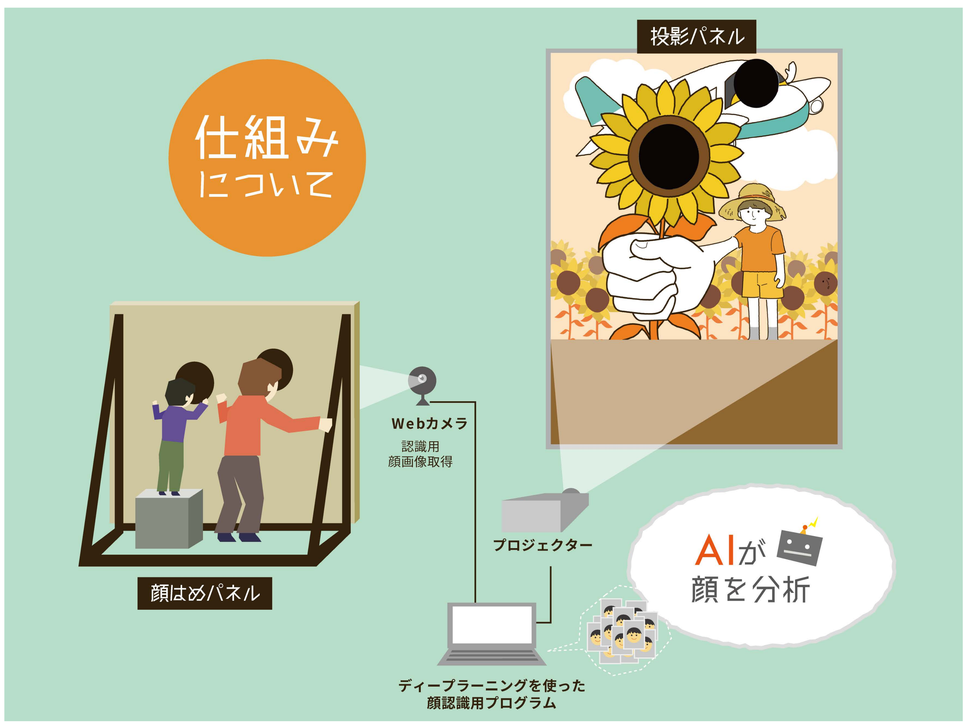
今回は北海道の穴場を自分の地元である乙部町にしぼりchatGPTなどのAIを活用させ、観光の回復を図る

ターゲット

北海道の穴場を知りたい人

「ココイコ!北海道」とは？

新たな観光プロモーションの提案を目的に2018年度北海道情報大学学内共同研究で開発された.[1]



デザイン

デザインは杉澤ゼミの3年生の青野光純さんが担当してくれている。下の図は乙部町のパネルのデザインである

まとめと今後の課題

本制作では北海道の穴場の紹介することを目的として、今回は乙部町を例に挙げ、AI顔はめパネルの改良を行った。 改良した機能はchatGPTを利用したキャッチコピーの生成する機能を追加した。 今後の課題としては、従来のバージョンでは年齢推定と性別推定の結果が利用者の楽しみがあるので、反応の違いをみる必要がある

参考文献

[1]杉澤愛美，斎藤 一，長尾光悦，安田光孝，向田茂, AI デジタル顔はめパネルを用いた観光プロモーションの提案, 観光情報学会誌（観光と情報），Vol.17, No.1，pp.83-94, 2021.